

令和2年第4回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和2年6月11日（木） 午前10時開議

◎ 一 般 質 問

- (1) 5番 菅原明雅君
- (2) 8番 鹿兒島 巖 君
- (3) 9番 小笠原 憲 昭 君
- (4) 6番 秋元英俊君
- (5) 10番 熊谷 聰 君
- (6) 7番 成田直人君
- (7) 3番 本田佳子君

令和2年6月10日招集
第4回小坂町議会（定例会）

発 言 通 告 書

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	5	菅原明雅	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 十和田湖地区への支援等について</p> <p>2. 「2025年問題」について 〔問題提起〕</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>十和田湖は町民の宝ですが、新型コロナ感染症拡大の影響で疲弊しています。経済再生のためには何よりお金を回す必要があると考えます。以下の3点を提言致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国・県・町の支援策の周知徹底と100%の利活用促進。 2. 国道454号の補修整備の国県への要請。 3. 和井内エリア観光拠点施設建設工事、国道454号整備工事等従事者の十和田湖地区のホテル・民宿等の積極的利用促進。 <p>※休平自治会 (29世帯52人) 大川岱自治会 (27世帯50人)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「2025年問題」とは、団塊世代が後期高齢者の年齢に達し、医療や介護などの社会保障の急増が懸念される問題です。「世代をつなぎ、2025年に備えた町づくり」に尽力することが、私のこの1期4年の主題であり課題です。町を動かす行政と町民の代表である議会が知恵を出し合い、この難題を克服していかなければならないと考えています。この問題に対しての、町の認識と町としての問題点、今後の対応についてのお考えを伺いたい。 ※団塊世代小坂中学校卒業生 (昭和22年度生まれ406名、23年度生まれ423名、24年度生まれ470名) [小坂中学校同窓会名簿] 現在…年齢0才～15才 (計408名) 2. 「第6次小坂町総合計画」の策定が進められていますが、基盤になるのは人口であると考えます。本年(2020)の本町の年齢別人口を町民に分かりやすいように図示願いたい。また町は平成28年(2016)3月に「小坂町人口ビジョン」を示していますが、5年後の2025年にはどのような人口構成になると推測しているのかをお示し願いたい。 3. 「元気な高齢者が多い」「介護保険料が安い」等、本町の高齢者福祉事業は非常に優れていると評価しています。優れている点を町民に改めて周知願いたい。 		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
1	5	菅原明雅	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>3. 「新編 小坂町史」について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>しかし一方「支える側」が減り、「支えられる側」が増える中で、介護人材の不足が懸念されます。2025年、国の試算では約34万人（3/1朝日新聞）、県の試算では約3,600人（「あきた経済」4月号）介護人材が不足するとしています。本町においてはどのように試算しているのか。また対応策等があれば、お示し願いたい。</p> <p>1. 一昨年暮れ、前編さん委員長が急逝されました。先生の町史編さんに対する熱意を伝え聞いていただけに、残念でした。その後の人事体制と現在の進捗状況、編さんの基本的な考え方を改めてお聞きしたい。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
2	8	鹿兒島 巖	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 若者定住政策の推進について</p> <p>2. 緊急避難態勢の見直しについて</p> <p>3. 来年4月町長としての任期満了を迎えることに関わって</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>少子高齢化が進行する中で、町の展望と活性化を切り開く有望な施策の一つとして若者向け定住施策を手がけ、渡ノ羽での単身者住宅、そして岩ノ下の世帯向け住宅を建設してきたところであるが、この施策は単発で終わらせることなく、継続して取り組むべきと考える。</p> <p>1. この施策への評価をどう捉えているか。</p> <p>2. さらに施策を進め、各住宅を増設すべきと考えるがどうか。</p> <p>1. コロナウイルス問題は世界的に深刻な脅威をもたらし、これまで築いてきた社会構造の根本を覆すほどの衝撃と、暮らしのありようの根本からの見直しを迫っている。</p> <p>その見直すべき課題の中でも緊急を要する課題として、災害時の緊急避難にかかわる課題があると考えます。</p> <p>避難誘導や避難場所の設置、その設備など根本から見直し、再構築が必要と考えるがどうか。</p> <p>1. 来年4月で町長としての任期満了を迎えることになるが、これまでの町政運営に対する自己評価と、今後の課題、改選への思いはどうか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
3	9	小笠原憲昭	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 町の職員に関して</p> <p>2. 町営住宅の管理について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 職員採用の諸条件等について。 (資格、年度、社会経験等)</p> <p>1. あげぼの住宅入居者の移転・集約をどのように取り組むのか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
4	6	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 災害時における応急対策について</p> <p>2. 災害時における生活必需物資について</p> <p>3. 小坂町スポーツ少年団について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 災害協定を締結している各事業者と町は、災害時における対応（訓練）を行なっているのか。</p> <p>1. 町は生活必需物資を91人の目標数値に設定し備蓄しているが、近年大規模災害や新型コロナウイルス感染防止対策など新たな目標数値ならびに新たな物資の必要性があると思うがどうか。</p> <p>1. 2020年度からスポーツ少年団の指導者制度が改定されたがその概要は。</p> <p>2. 改定された内容に新たに指導者登録料が必要となったが、指導者個人に対して負担増となることから町として補助を検討すべきと思うがどうか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
5	10	熊谷 聡	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 新型コロナウイルスの影響について</p> <p>2. 農業について</p> <p>3. 地球温暖化について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 観光に対する地域への経済影響とそれに対する復興への町の施策はあるのか。</p> <p>2. 教育現場のインターネット回線を利用した授業などの整備予定。</p> <p>3. 医療面での遠隔受診が可能か導入予定は。</p> <p>1. 今年は昨年より、産地交付金等の支給額が減少しているが小坂町独自の対策等はあるのか。</p> <p>1. 小坂町のCO₂削減はどのくらい進んでいるのか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
6	7	成田直人	一般質問	町長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. コロナ不況による現状と対策について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 令和2年度における町の財政状況の見通しは。</p> <p>2. 町内事業所の経営状況をどのように把握されているか。</p> <p>3. 国民健康保険税の免除や減免申請に関する現状は。</p> <p>4. 景気浮揚につながる「町独自のプレミアム付き商品券」の構築を考えられないか。</p>		

発言順	議席番号	氏名	発言の種別	出席要求者
7	3	本田佳子	一般質問	町長・教育委員会の教育長
<p>(発言の要旨)</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症の影響による町の支援等について</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症の影響に伴った教育、子育て支援について</p>		<p>(発言の内容)</p> <p>1. 4月17日からの国の緊急事態宣言を受け、イベントの中止や休館する町の施設、小中学校の休校などに伴い、事業の経営不振が広がるなど、町民の生活も不安定になっている。国、県の支援だけでは足りない状態であり、この度、町独自の支援策をうかがっているが、この後、第2波、第3波の可能性があり、その対策は考えているか。</p> <p>2. 特別定額給付金の給付が始まっているが、できるだけ町内で使っていただけるような工夫は考えているか。</p> <p>3. これから先の見えない闘いが続くことが考えられるが町の経済をどのように取りもどしていくのか。</p> <p>1. 小坂小、中学校における「学びの遅れ」などあるか。</p> <p>2. 高学年、中学生はリモート授業も考えられる。学力低下を防ぐため授業スタイルを考える必要があると思うが、今後の対策はあるか。</p> <p>3. リモート授業を行える環境は整備できているか。</p> <p>4. 第2波等が考えられるがその時の放課後児童クラブ、保育所等の対応はどのようになるか。</p>		

